

hrms-jp 人事労務マネジメント研究会 2023.12.23 働き方改革懇談会

自閉症を含めた障害者を取り巻く 社会的支援の個人的経験

大屋滋

旭中央病院脳神経外科・九十九里ホーム病院
NPO法人あおぞら・東総権利擁護ネットワーク
千葉県自閉症協会・千葉県TEACCHプログラム研究会

内容 本日は障害児者福祉を中心に話します

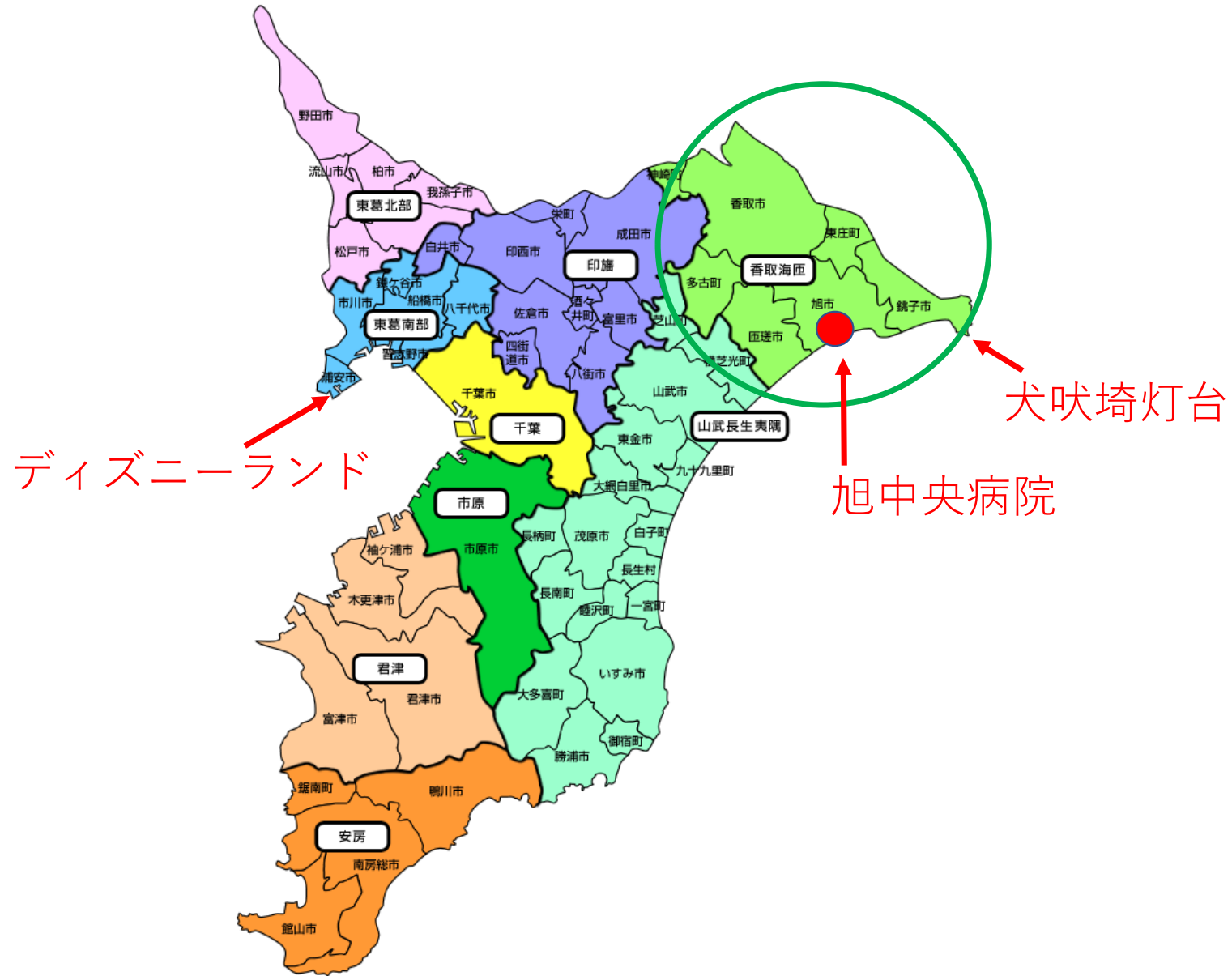
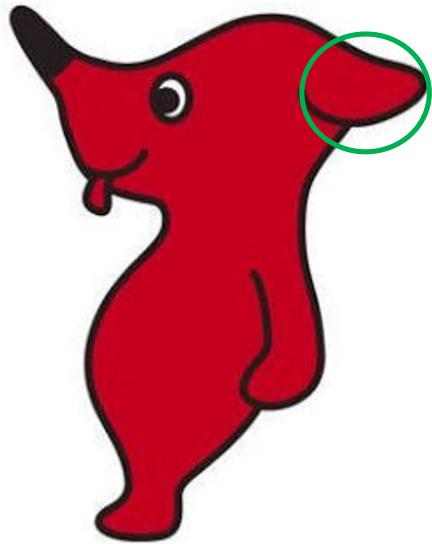
- I 本業の病院でやってきたこと 自己紹介を兼ねて
- II もう一つの本業 障害児者の地域生活の支援

そのうち機会があれば 医療と福祉の

- 人材確保 施設の魅力と教育
- 報酬 生かさぬように、殺さぬように
- 役割分担 コミュニティー・地域社会で
- 権利擁護 虐待、差別、人権

千葉県旭市

チーバくんの耳



経歴 流れに任せて生きてきた 10年ごとに変化

1956年 広島市生まれ

1981年 東京医科歯科大学卒業 旭中央病院初期研修

以後 旭中央病院脳神経外科(大学医局所属せず) 41年間

(短期間 千葉県がんセンター、船橋市立医療センター)

1991年 長男誕生 自閉症・知的障害あり!!

2000年 自閉症、知的障害をメインとした障害福祉へ

2010年 脳神経外科基幹施設長(学会届け出) 12年間

2022年 定年

2023年 九十九里ホーム病院回復期リハビリ病棟開設

I やってきたこと 病院内・地域福祉

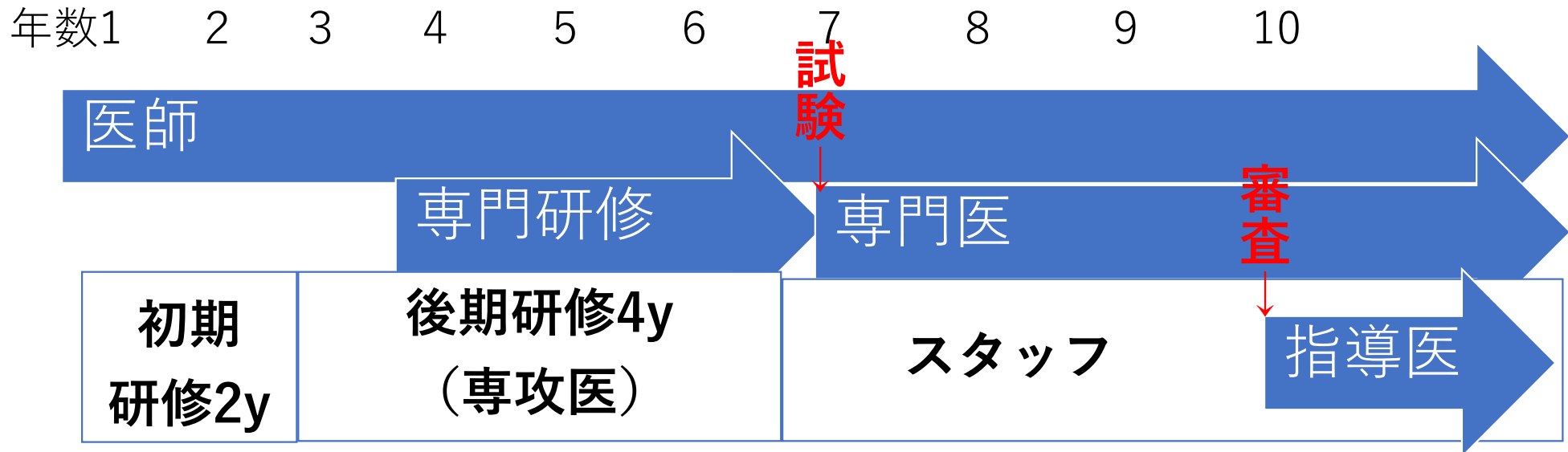
- 脳神経外科 一通りこなす 地域の患者は旭ワンストップ
脳血管障害、脳腫瘍、下垂体腫瘍、外傷、小児、高次脳機能障害、認知症
- いろいろな医療分野 周辺領域もカバー
救急、神経内科、リハビリ、プライマリーケア
- 障害児者福祉
- 高齢者福祉
- 成年後見

やりたいと同時に、必要とされることをやってきた

病院に貢献したかもしれないこと 自分には

- 旭中央病院の管理業務にほぼ従事していない 余計な仕事なし
- **ひたすら現場で** 脳神経外科 救急医療と手術 手術好き
- * おまけとして外保連指数の向上 気分いい
- **初期研修医制度**の第1期生→ 病院の人材確保 居心地よい
- **専門医機構基幹施設**の維持→ 脳外科人材確保 お山の大将
- 回復期リハビリテーション→ 病院機能分担 罪滅ぼし

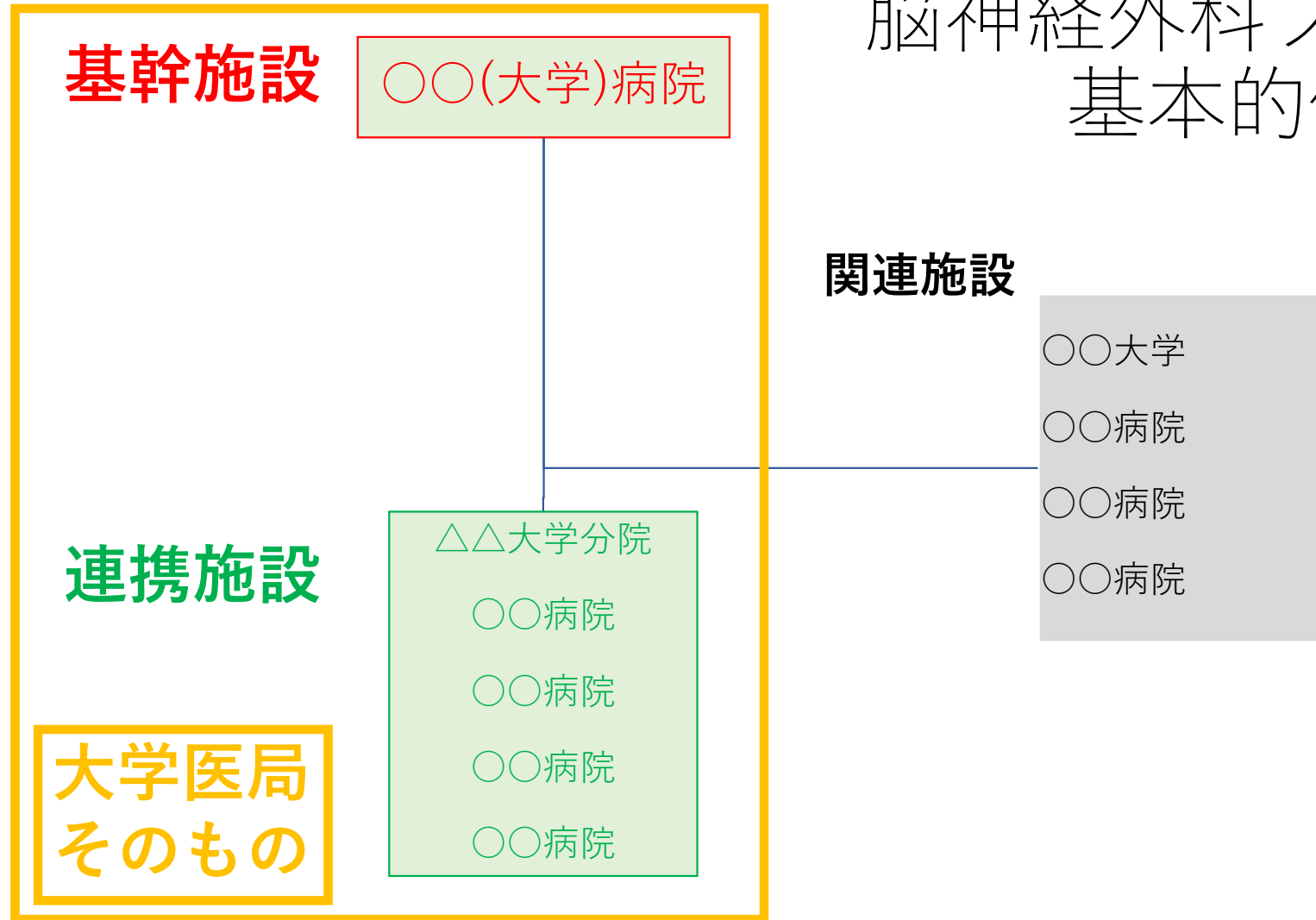
卒後研修制度（脳神経外科の場合）



卒後必修

基幹施設を中心に
いくつかの施設で研修

脳神経外科プログラム 基本的体制





プログラム基幹施設

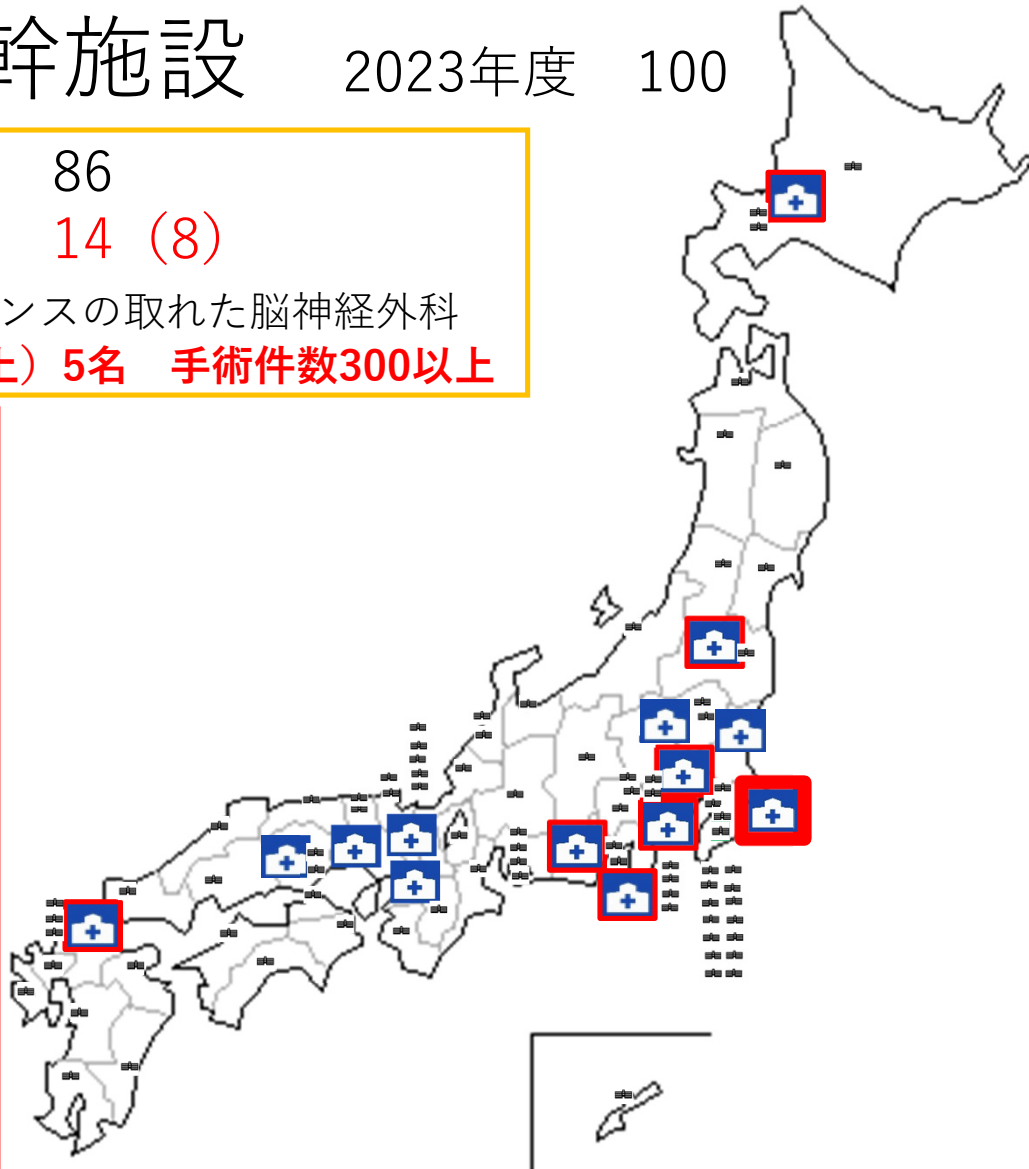
2023年度 100

大学附属病院 86

  大学以外の基幹施設 14 (8)

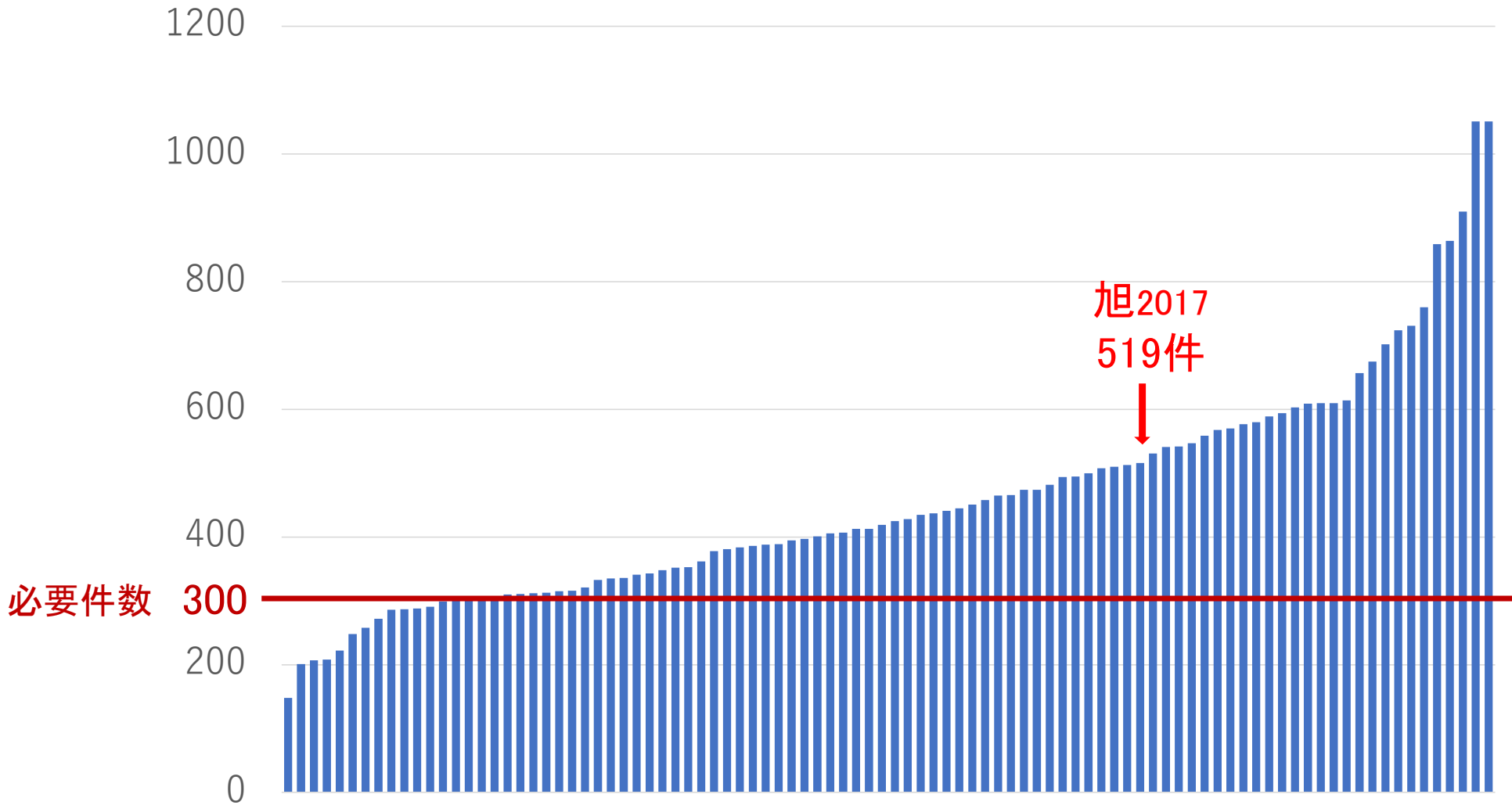
独り立ちしたバランスの取れた脳神経外科
指導医(10年目以上) 5名 手術件数300以上

-  中村記念病院
- 総合南東北病院
- 旭中央病院
- 国立国際医療研究センター病院
- 川崎幸病院
- 国立横浜医療センター
- 聖隷浜松病院
- 福岡和白病院
-  北野病院
- 神戸市立中央市民病院
- 倉敷中央病院
- 国立循環器病研究センター
- 土浦協同病院
- 済生会宇都宮病院



脳外科基幹施設(ほぼ大学病院) 手術件数

2016年



病院に貢献したかもしれないこと 自分には

- 旭中央病院の管理業務にほぼ従事していない 余計な仕事なし
- ひたすら現場で 脳神経外科 救急医療と手術 手術好き
 - * おまけとして外保連指数の向上 気分いい
- 初期研修医制度の第1期生→ 病院の人材確保 居心地よい
- 専門医機構基幹施設の維持→ 脳外科人材確保 お山の大将
- 回復期リハビリテーション→ 病院機能分担 罪滅ぼし

病院の文化 医療の質の向上 vs 働き方

医師の

- 初期研修の雰囲気
 - 早朝カンファレンス
 - 24時間365日救急待機医
- ←長時間・時間外労働、住環境が課題
- 教育体制・研修医の一体感
医療の質向上・教育環境
効率悪いがハイボリューム

患者の権利

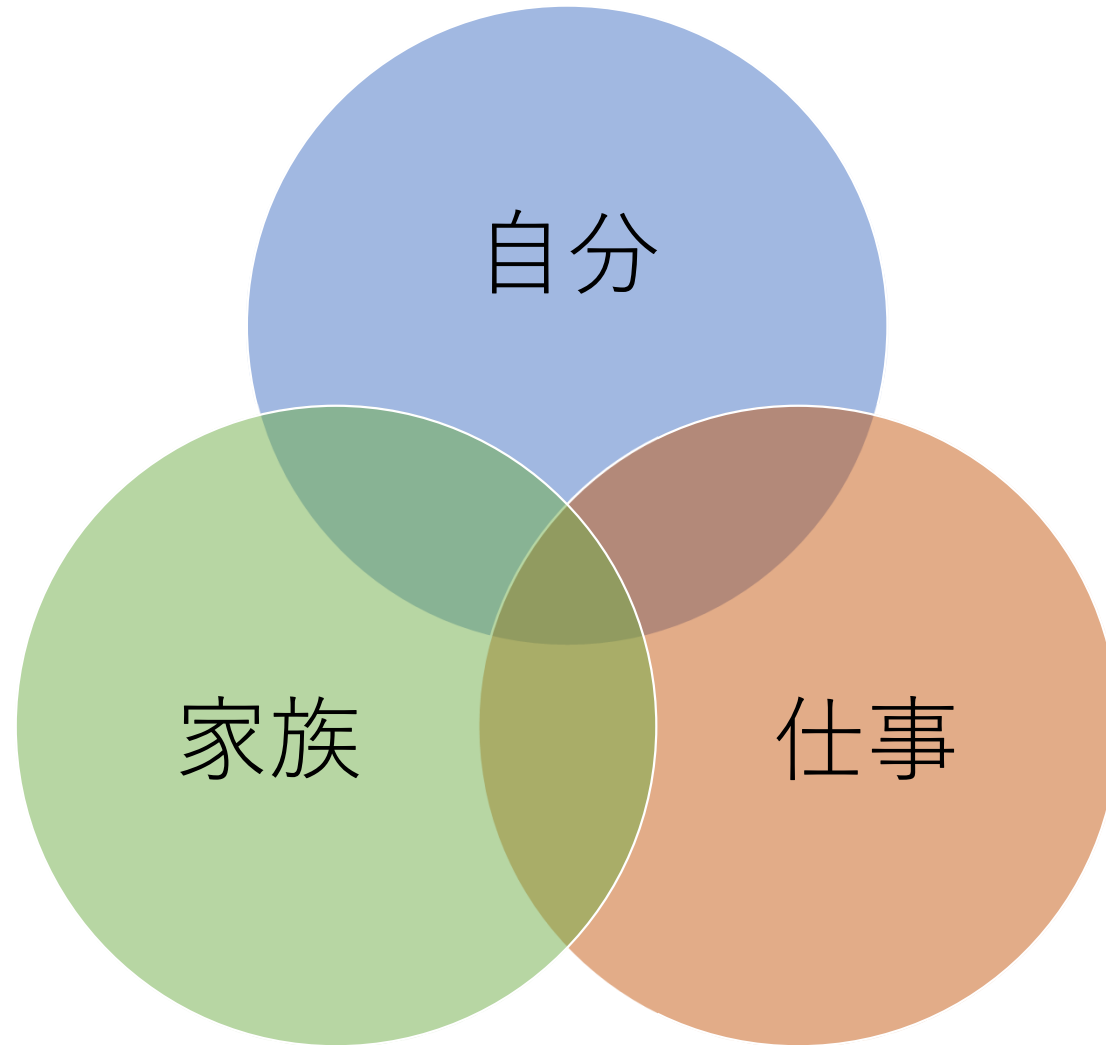
- 障害を理由に断らない医療
 - 障害児者医療受診の支援
 - 身体拘束・行動制限の適正化
- ←手間、職員の意識が課題
- 僻地ならではの
密かなNO.1
道半ば



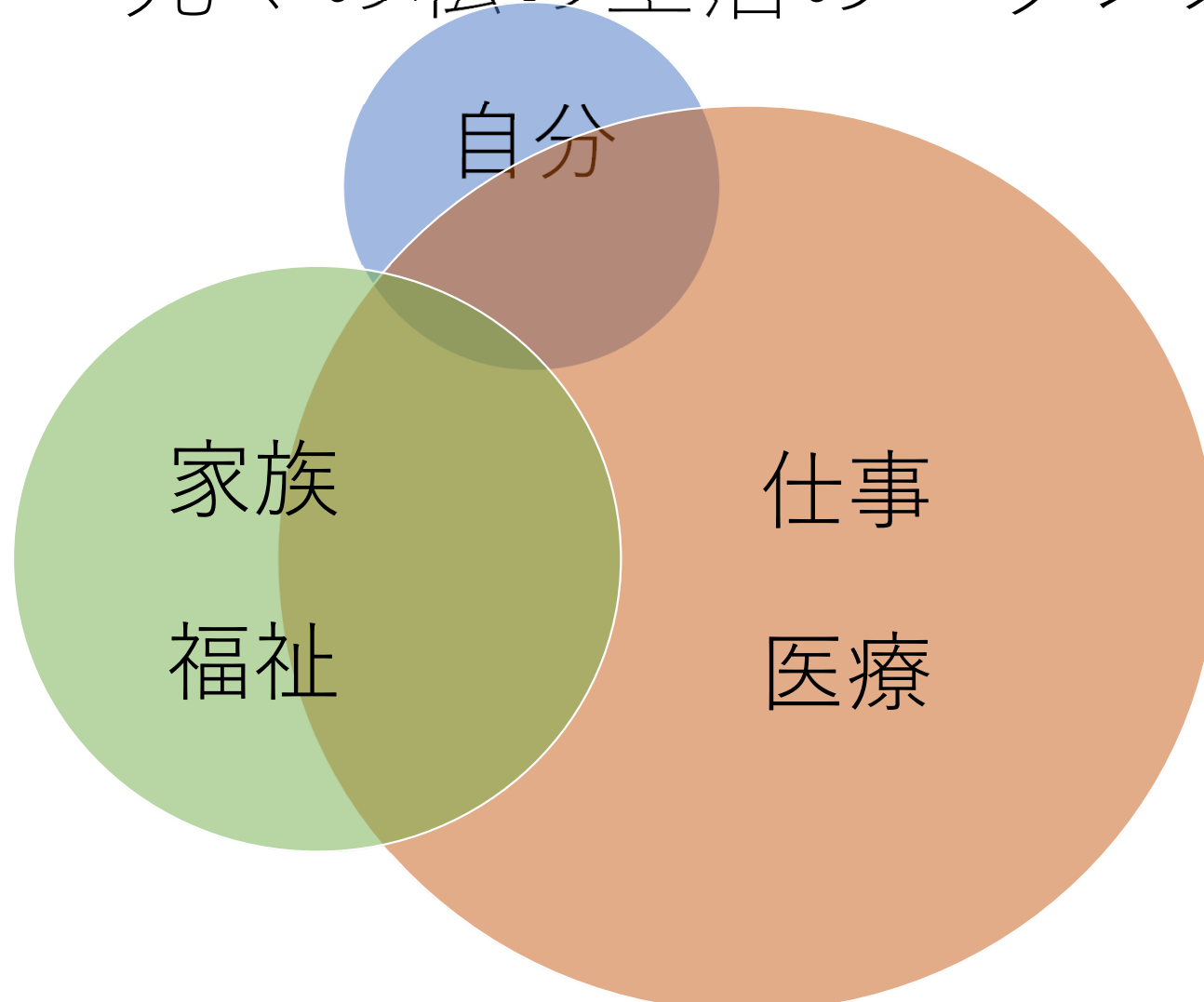
医療分野で これからやること

- 急性期治療後の医療
 - 回復期リハビリテーション
 - 地域包括
 - 療養
- 地域医療 ← 地域福祉と密接に関連

ワークライフ バランス



元々の私の生活のバランス



II やってきたこと 病院内・地域福祉

- 脳神経外科 一通りこなす
脳血管障害、脳腫瘍、下垂体腫瘍、外傷、小児、高次脳機能障害、認知症
- いろいろな医療分野
救急、神経内科、リハビリ、プライマリーケア
- 障害児者福祉
- 高齢者福祉
- 成年後見

やりたいと同時に、必要とされることをやってきた

発達障害の特性 診断のために

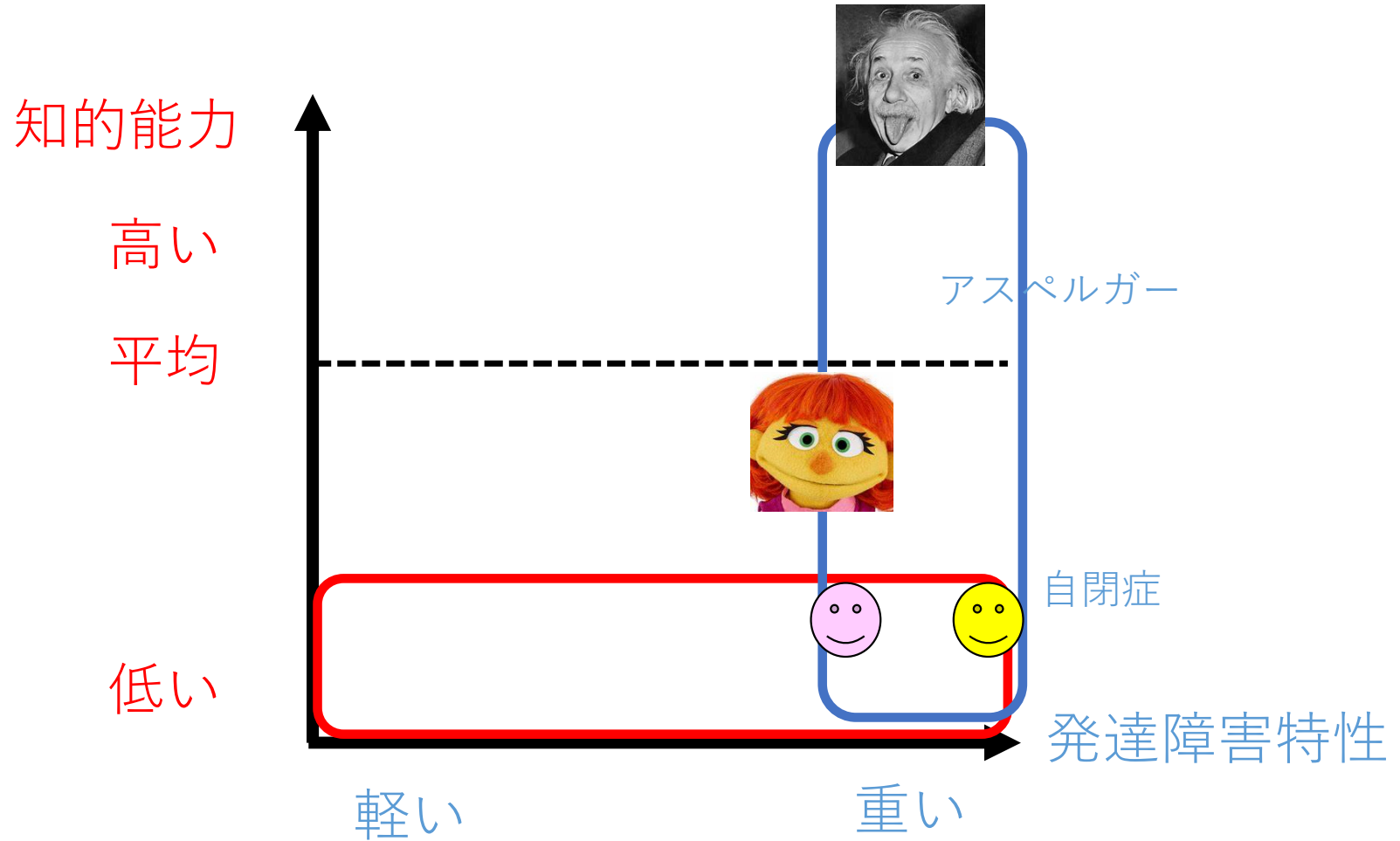
中枢神経系の高次機能の障害が発達期に生じているもの

・ 日本精神神経学会 DSM-5病名・用語翻訳ガイドライン

- 自閉症スペクトラム障害 ASD
(自閉スペクトラム症)
 - 社会的相互交渉
 - コミュニケーション
 - 想像力・興味・関心
 - 感覚のバランス
- 注意欠陥多動性障害(症) ADHD
 - 衝動性、多動性、注意力
- 学習障害(症) LD
- 知的能力障害 (症) MR
 - 読字、書字、算数等
 - 知的全般の障害

広い意味では含まれる

発達障害と知的能力 マトリックス



日々の生活能力

出来ないことが多い 始めは親が担っている

A D L

- 食事
- 身支度
- 移動
- 排泄
- 整容

I A D L

- 買い物
- 掃除・家の管理
- 炊事・洗濯
- 外出
- 金銭管理

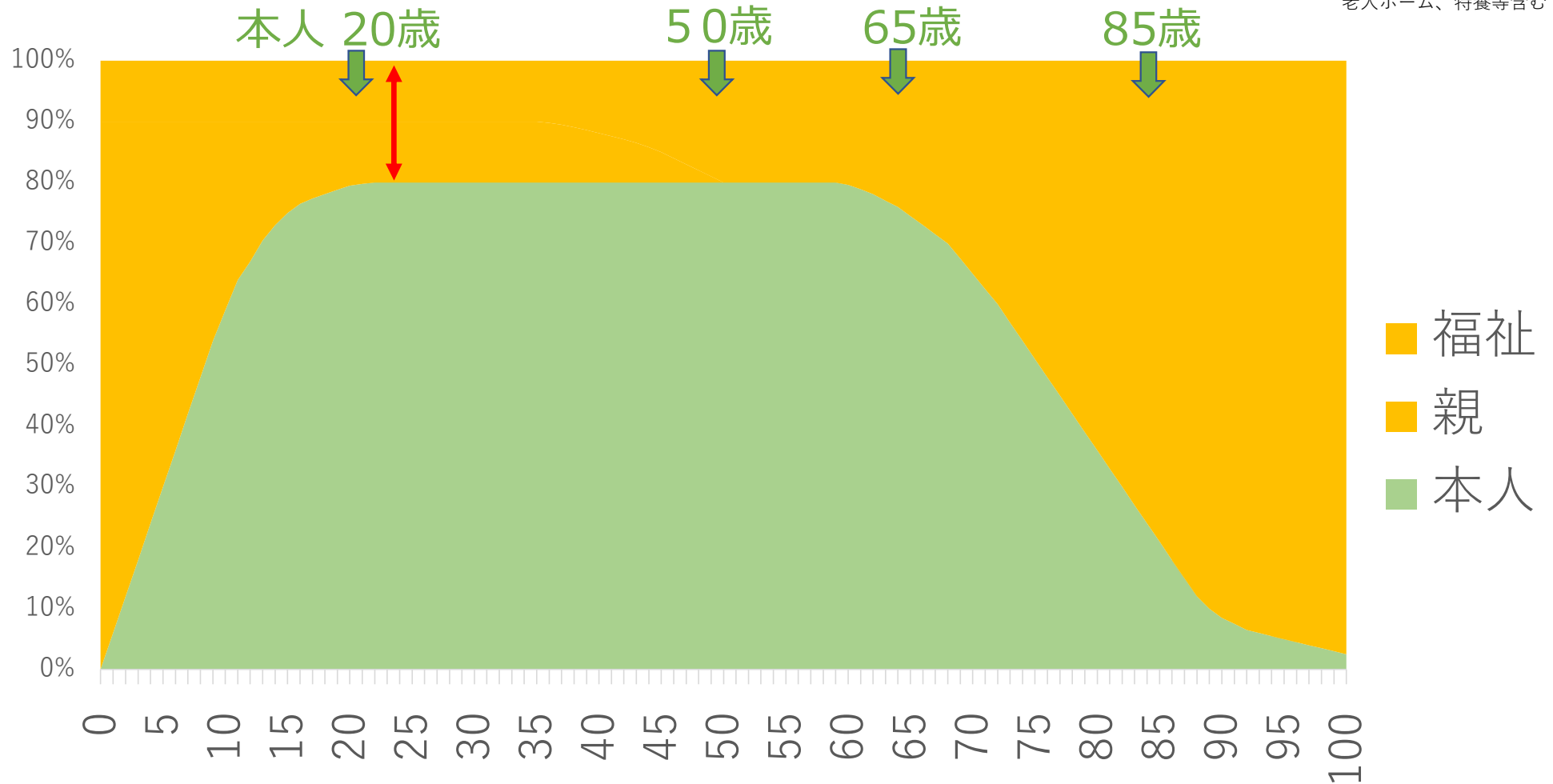
■ 他にもいろいろ

- 服薬管理
- 健康管理
- 電話
- 情報・パソコン
- 娯楽

- 日中活動・仕事・住まい

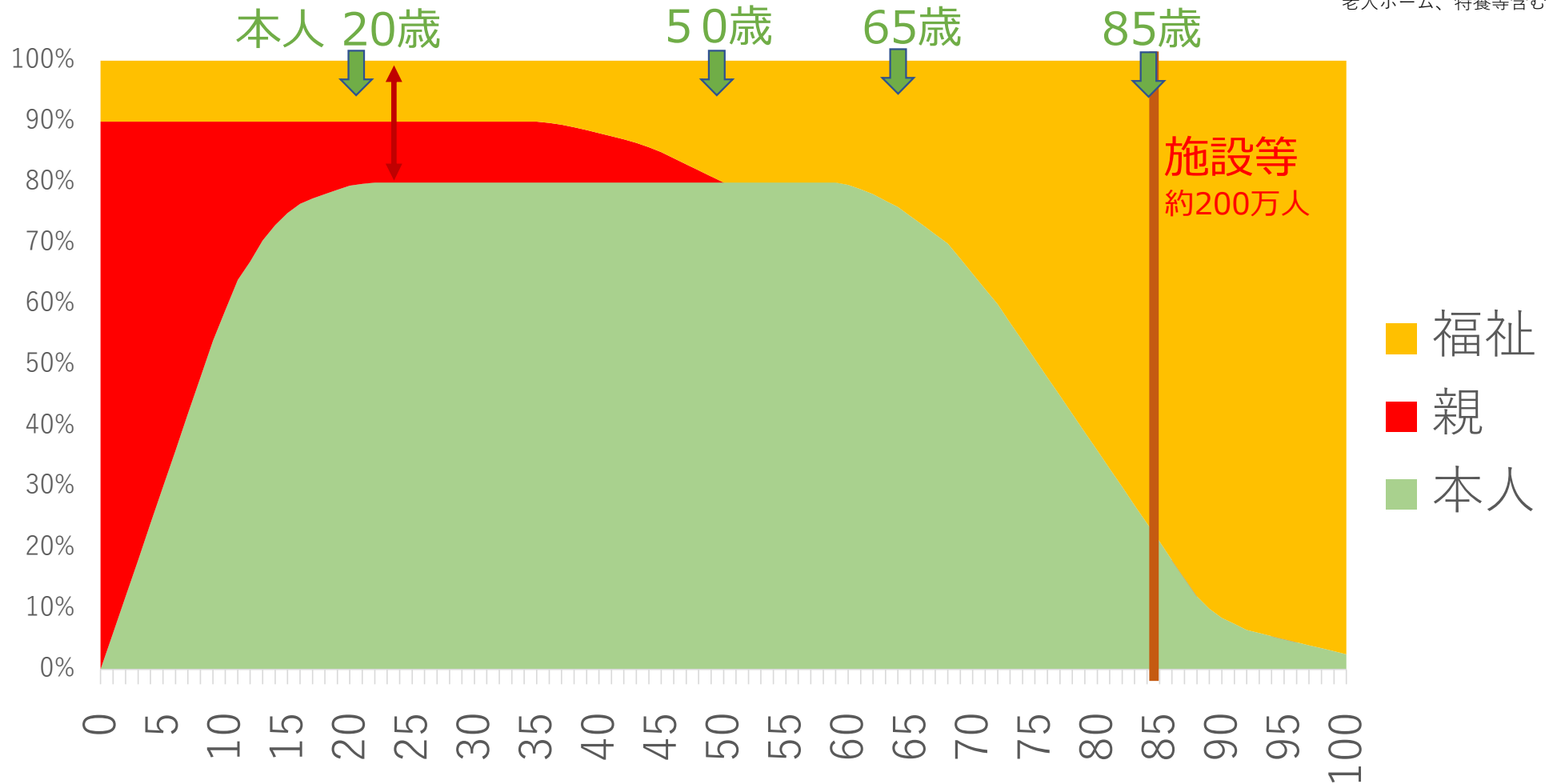
平均的な人 生活を支える本人の力と他力

施設にはグループホーム、老人ホーム、特養等含む



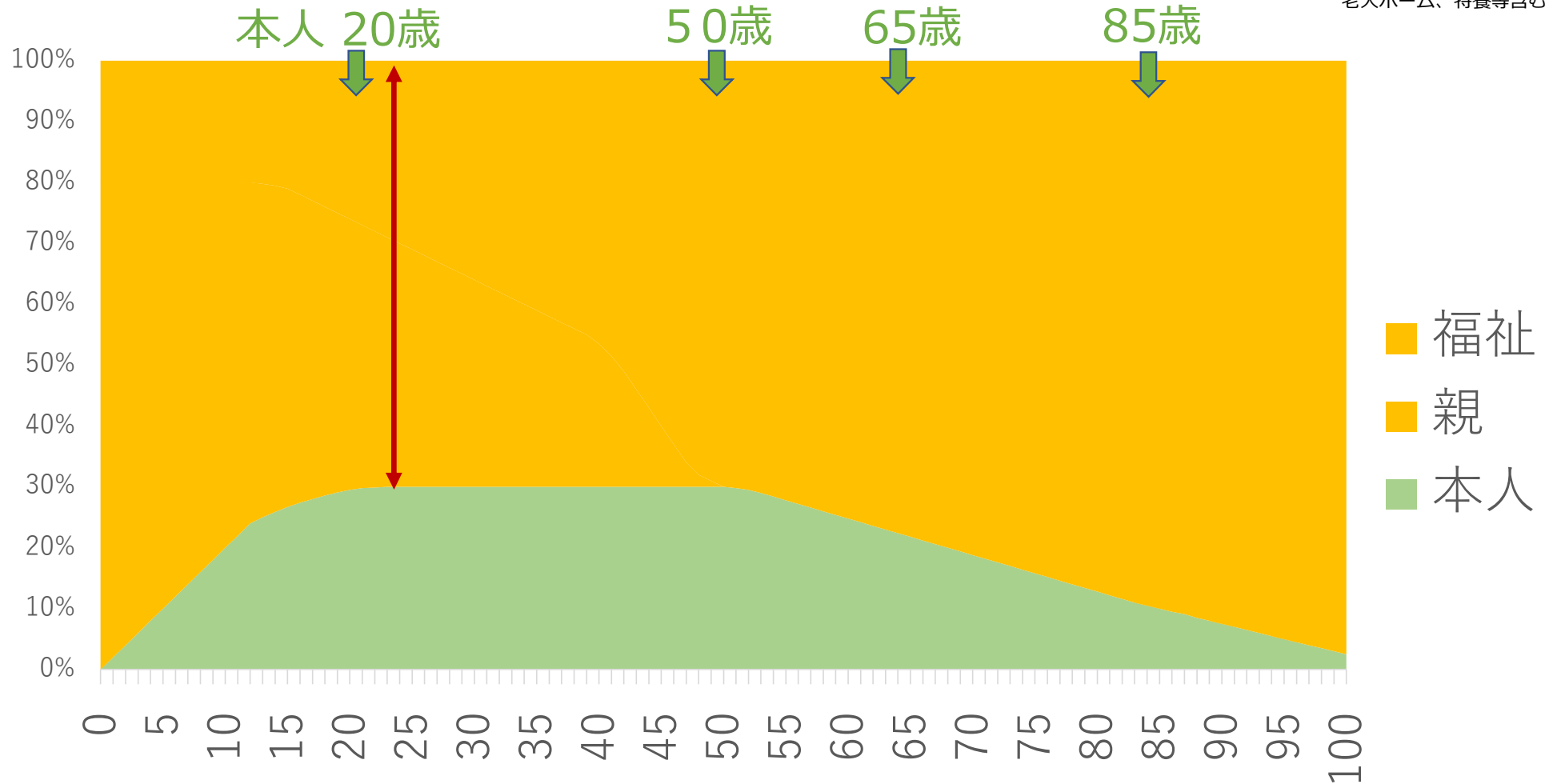
平均的な人 生活を支える親と福祉の力

施設にはグループホーム、老人ホーム、特養等含む



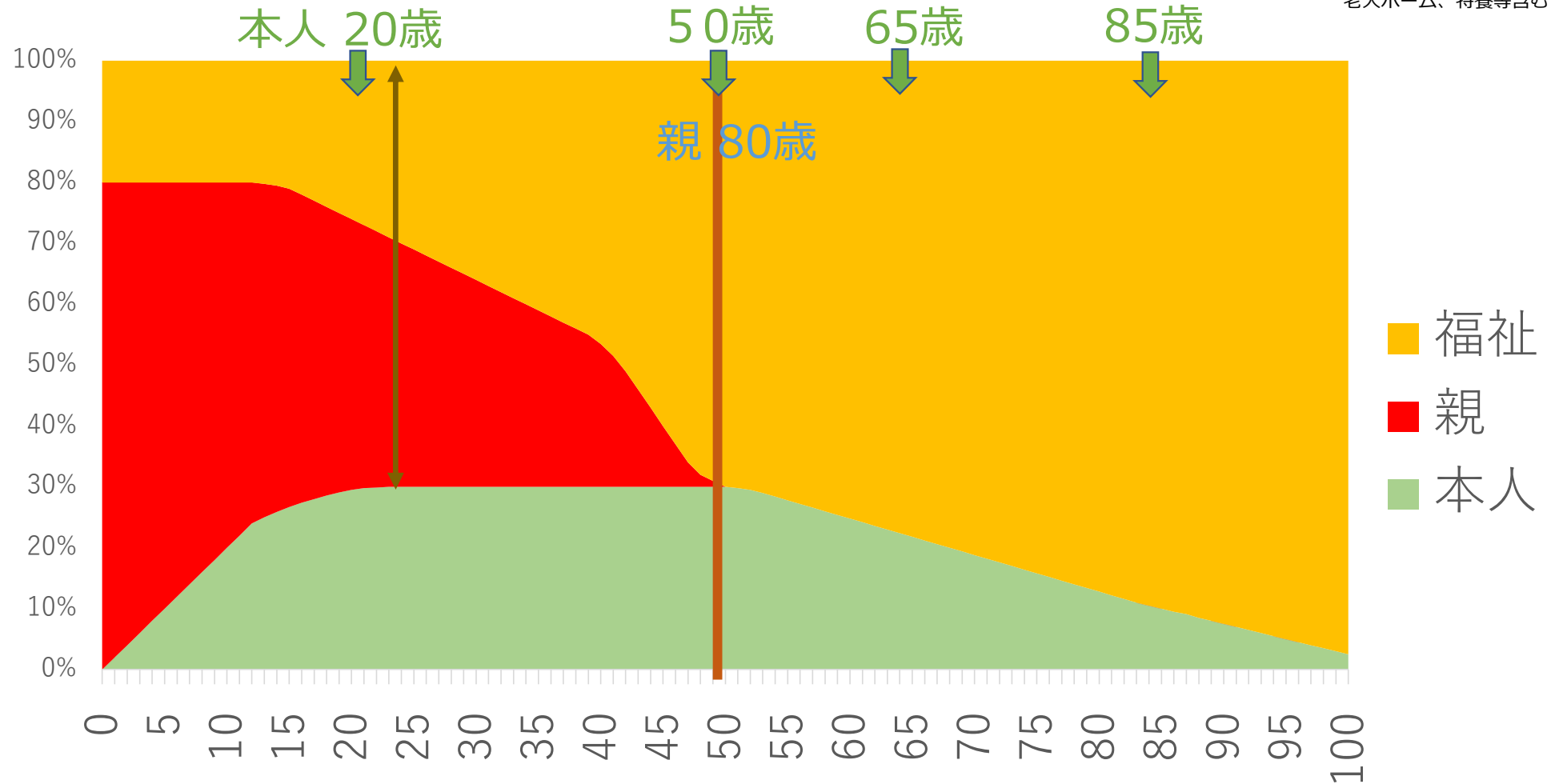
障害児者 生活を支える本人の力と他力

施設にはグループホーム、老人ホーム、特養等含む

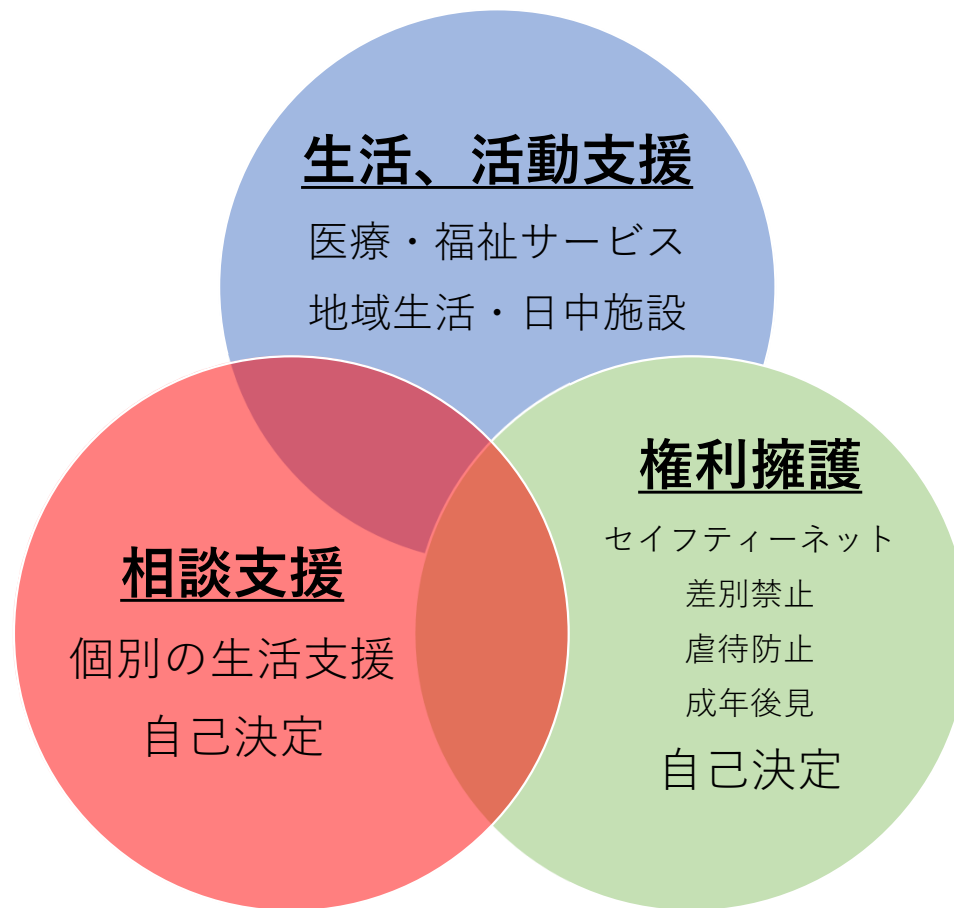


障害児者 生活を支える 8050問題

施設にはグループホーム、老人ホーム、特養等含む



障害児者の生活を支える福祉の力 三つ組み



毎日の生活 典型例

0:00	就眠中
	起きる
	トイレ・身支度
	朝食
8:00	通勤
	通所施設・学校
	昼食
	通所施設・学校
16:00	通勤
	入浴
	夕食
	寝る
24 : 00	就眠中

1 親が果たしてきた機能 生活の支援

- 同居している場合、親が介護や支援のほとんど担っている。
- 日中活動は、学齢期は学校、成人後は通所施設が担う。
- 居宅ヘルパー、移動や余暇の支援を使うと負担が減る。
- グループホーム・入所施設に移動した場合、
介護や支援の仕事もいっしょに移動する。

障害福祉を分類すると 日中活動、住まい

介護、生活の支援	居宅介護 移動支援など
日中活動	生活介護 就労継続 地域活動支援センターなど
住まいの場	G H 入所施設など
自分の意思決定支援	相談支援など
権利擁護	成年後見など
お金の問題	年金など
緊急時対応	地域生活支援拠点 + 制度を越えて

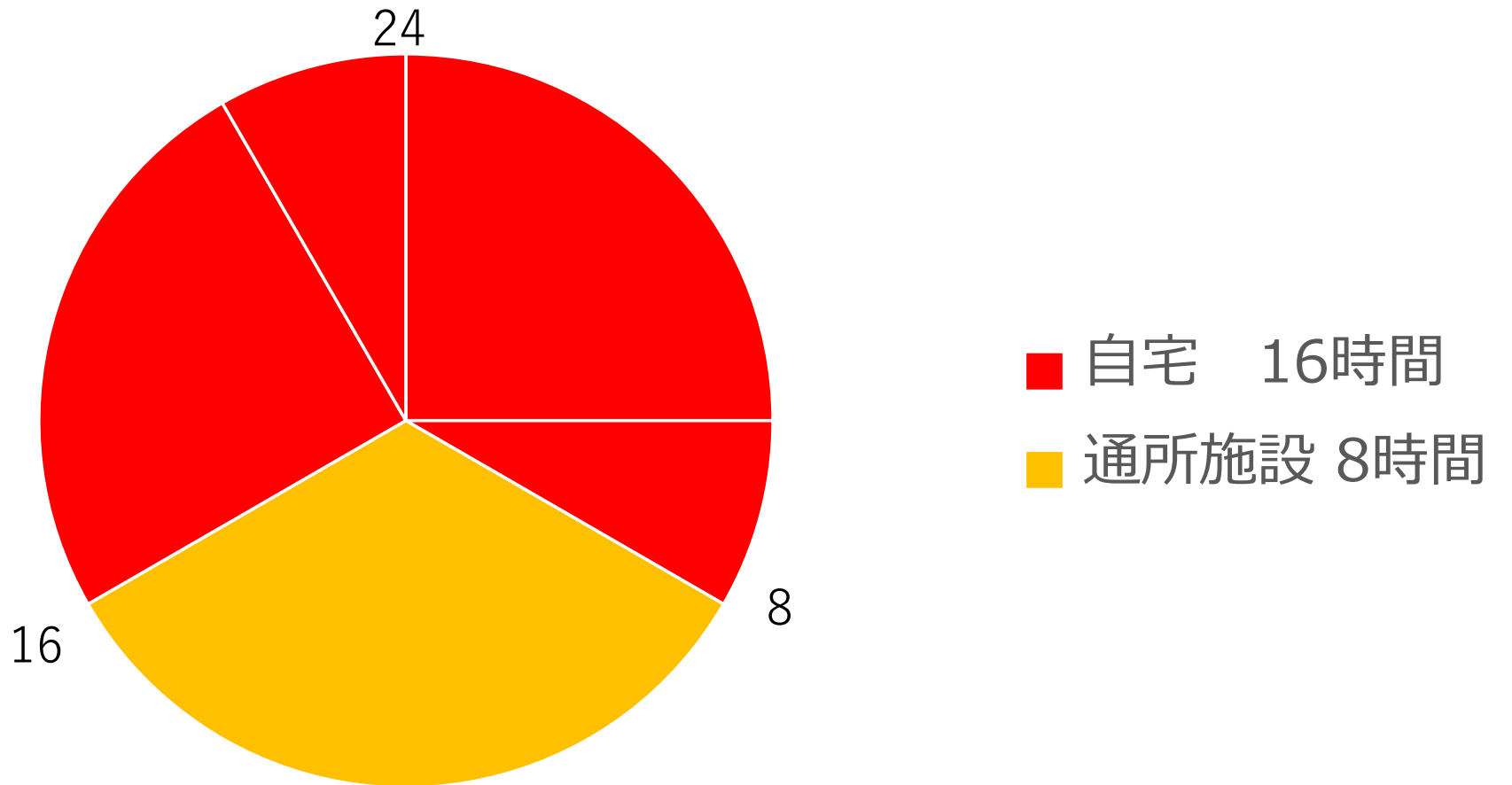
代表的な日中活動支援

- 児童発達支援 本人なりの成長
- 生活介護 重度の人 ADLの介護
 中位の人 楽しく本人らしい日中活動
- 就労継続 軽度の人 やりがいのある仕事
- 移動支援 休日・外出・余暇支援
- 居宅介護 家庭生活の支援

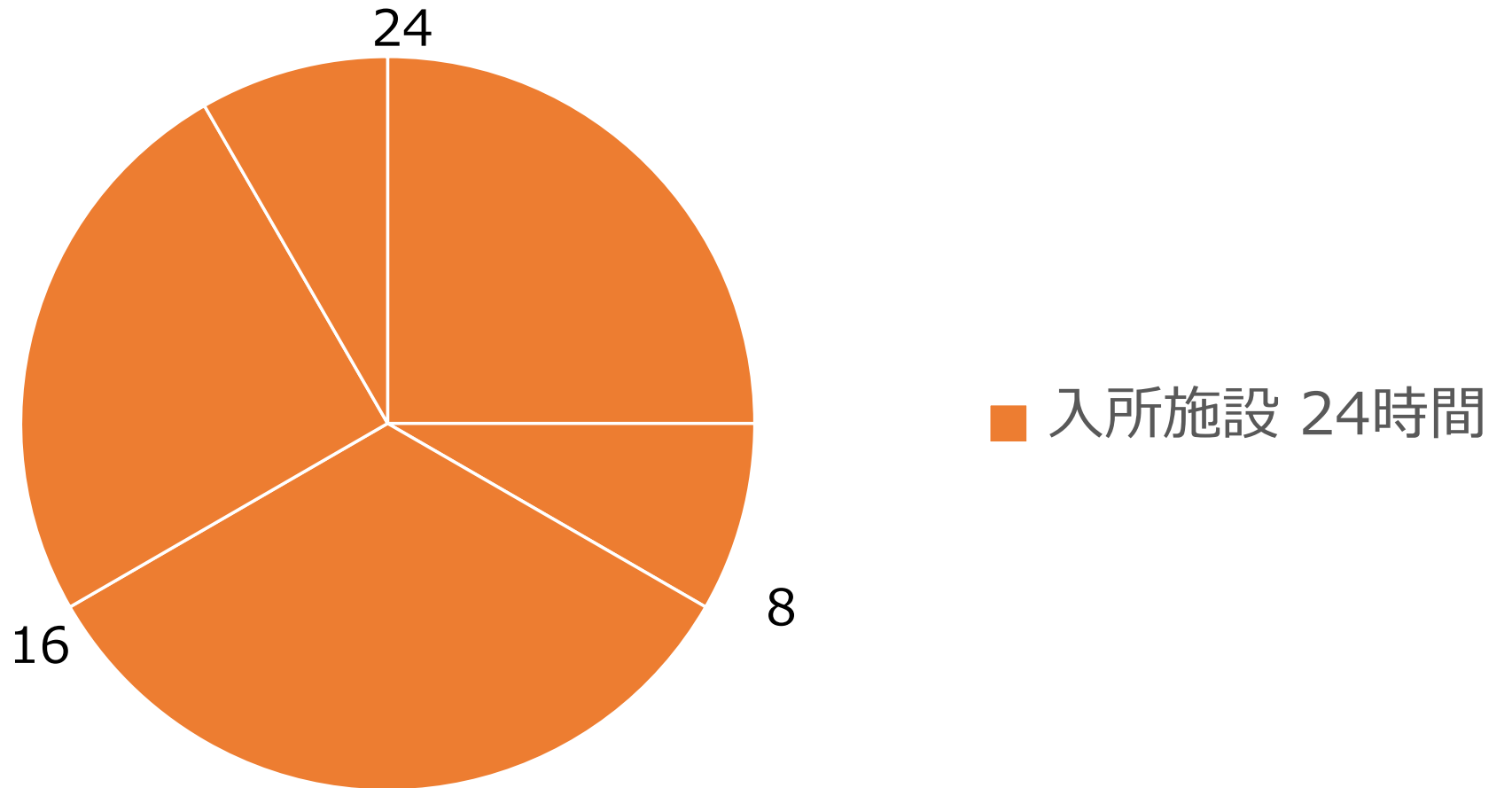
住まいの場 一般的な選択肢

- 自宅 親と同居
一人暮らし + 居宅介護
- 入所施設 オールインワンに近い
- グループホーム（G H）近年もてはやす風潮
G Hは小規模施設ともいえる
実態はいろいろ

自宅の場合



入所施設 旧来型 日常の全て

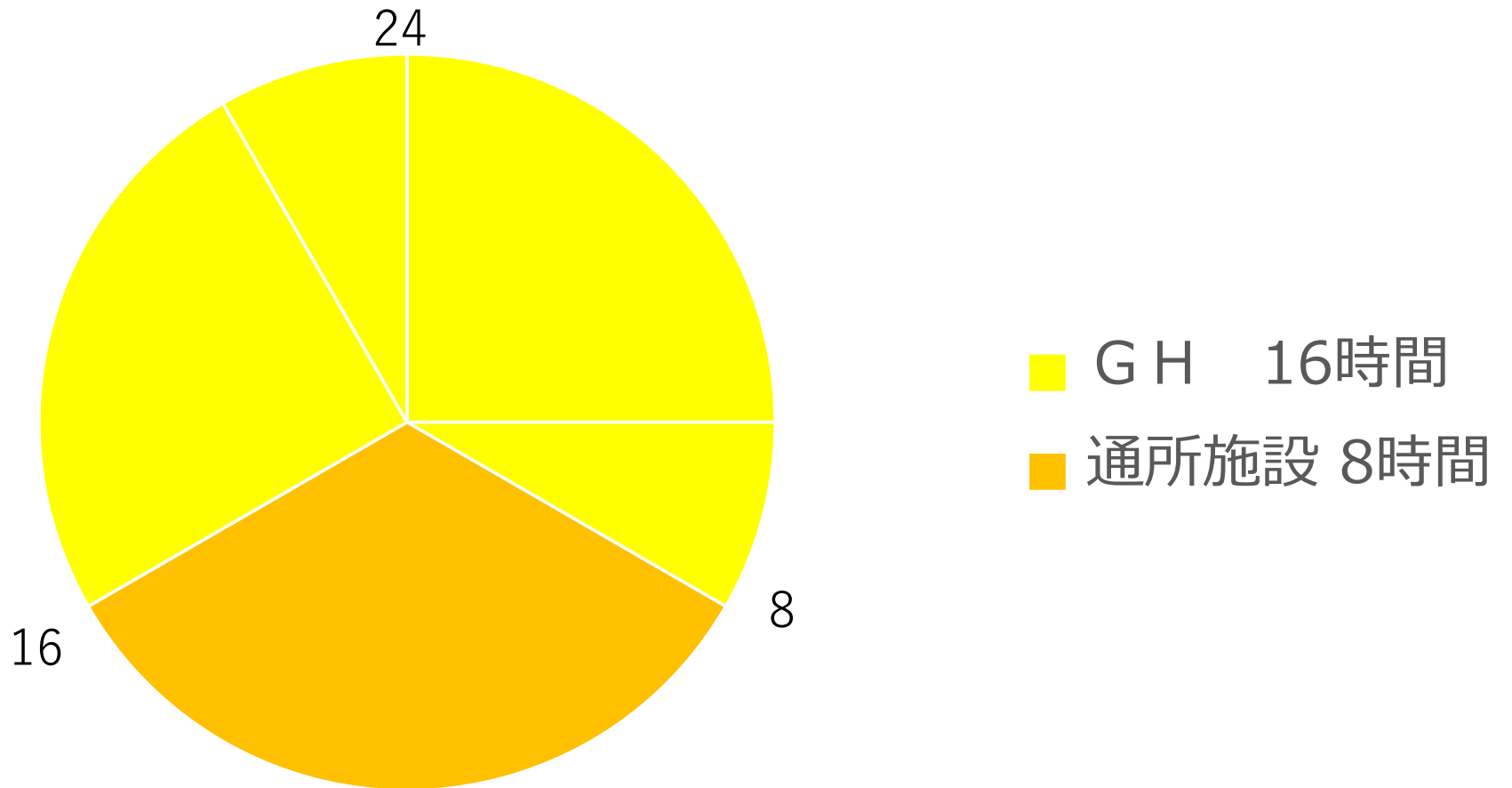


障害者の数と入所・入院割合

参考：平成25年度障害者白書 内閣府 身体・知的障害児・者は平成17年国勢調査人口による。 精神障害者は、平成22年国勢調査人口による。

	入所・入院 割合		総数	在宅者	施設入所者
身体障害児・者	2.4%	H.18	366.3万人	357.6万人	8.7万人
知的障害児・者	23.4%	H.18	54.7万人	41.9万人	12.8万人
			総数	外来患者	入院患者
精神障害者	10.1%	H.23	320.1万人	287.8万人	32.3万人
発達障害児・者	?		?		

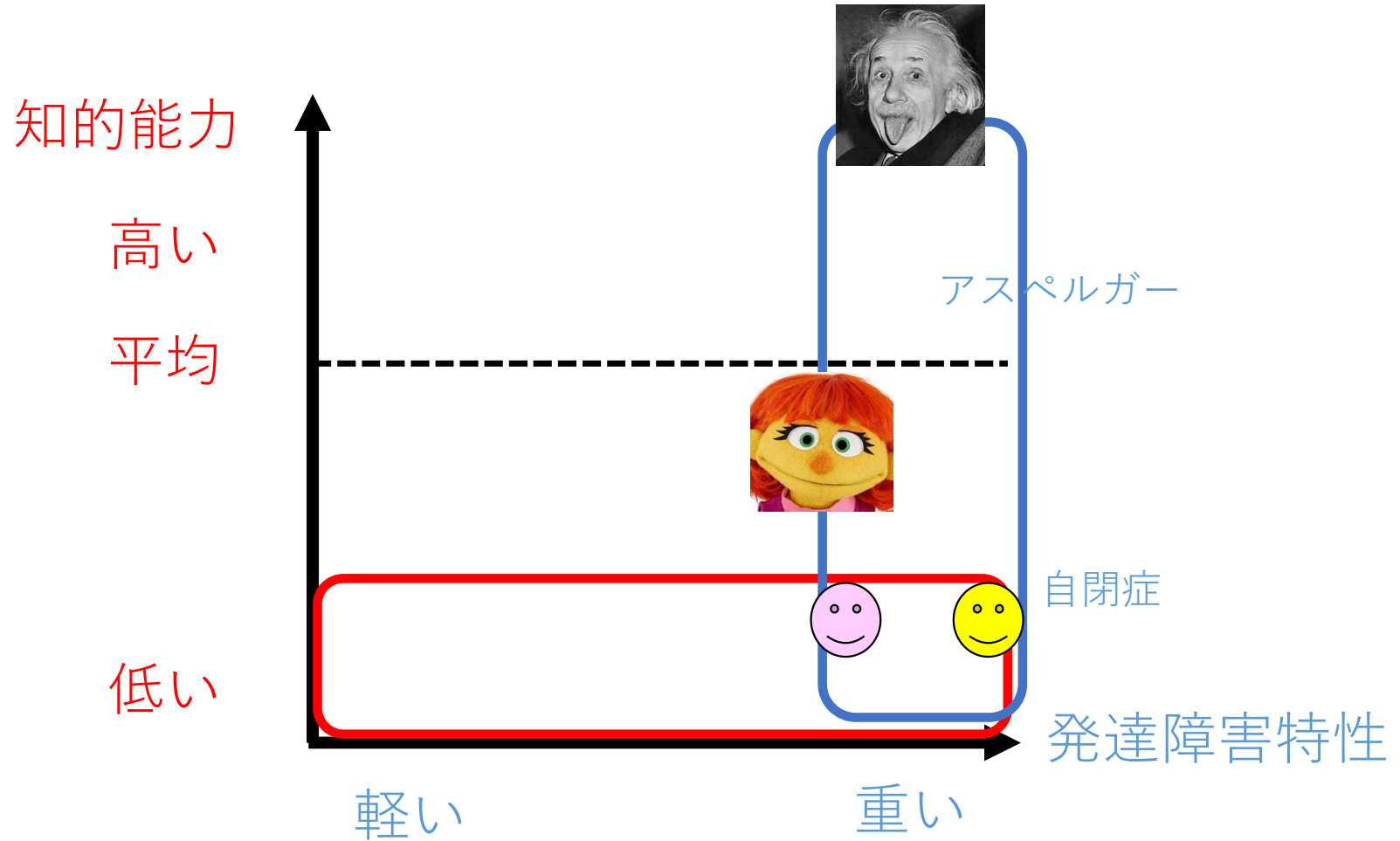
グループホーム（GH） 典型例



住まいの場 多様な方法が出現 今後の課題

- 自宅に住み続ける リバースモーゲージ
- 高齢者 親とともに住む
- 共生型グループホーム
- 有料老人ホーム ユニット型
- 障害者グループホーム 日中支援型
- 入所施設
 - 全室個室のユニット形式 トイレ 風呂
 - 外出・活動の自由度

発達障害と知的能力 マトリックス



NPO法人あおぞら

施設と地域生活支援

2005年設立

障害児・者が地域で自分らしい生活をするために

利用定員合計 138名、計画相談 約300名、職員約100名

主な事業

通所施設	4
グループホーム	5
短期入所	1
相談支援	3
ヘルパー事業	1
地域生活支援拠点	1
児童発達支援センター	1



2 親が果たしてきた機能 意思決定

- 親が意思決定支援、権利擁護、お金の問題の大部分を担っている。
- 計画相談は本人が望む生活の組み立て、意思決定を援助する。
- グループホーム・入所施設の場合、職員が日頃の意思決定支援を担う。
- 権利擁護の一つとして成年後見制度があるが、万能とは言えない。
- お金や財産を残す場合、長期間どう管理するかは、人さまざま。

障害福祉を分類すると 意思決定・権利擁護・緊急時

介護、生活の支援	居宅介護 移動支援など
日中活動	生活介護 就労継続 地域活動支援センターなど
住まいの場	G H 入所施設など
自分の意思決定支援	相談支援など
権利擁護	成年後見など
お金の問題	年金など
緊急時対応	地域生活支援拠点 + 制度を越えて

意思決定支援

最初は全部親が担っていた

- 日常的な意思決定 日々の生活介護の中で
- サービス利用 計画相談 お金の問題
- より大きな契約 成年後見
- 医療同意 原則 家族のみ可能
- （重層型支援体制 ・ 地域包括支援センター）

お金の問題 GHの場合

収入

- 障害基礎年金 1級 8.1万 2級 6.5万/月 2021年
- 賃金 一般雇用（知的障害者） 11.7万円 2018年
- 就労継続支援A型 7.9万円、 B型 1.6万円 2019年

支出

- 利用料、家賃、食費：
 基本は障害年金+補助でまかなえるようになっている
- 固定費：健康保険料等、 その他費用：医療費、日用品等
- 小遣い：趣味、嗜好品、おやつなど 少しは用意してあげたい

権利擁護 全部親が担っていた

- 成年後見制度 後見、補佐、補助
 - ① 身上監護 本来の業務のはずだが、契約行為の代行になりがち
 - ② 金銭管理 本人のために使うことが困難
 - 財産を一生保全することが目的になりかねない
 - 財産が多い方がいろいろ大変 後見報酬・相続問題など
 - 遺産をすべて寄付した親もいる
- 後見制度は欠点が多い
- 日常生活自立支援事業（社会福祉協議会）
 - 福祉サービス利用手続き・日常的な金銭管理の支援
 - 本人が渋ることが少なくない

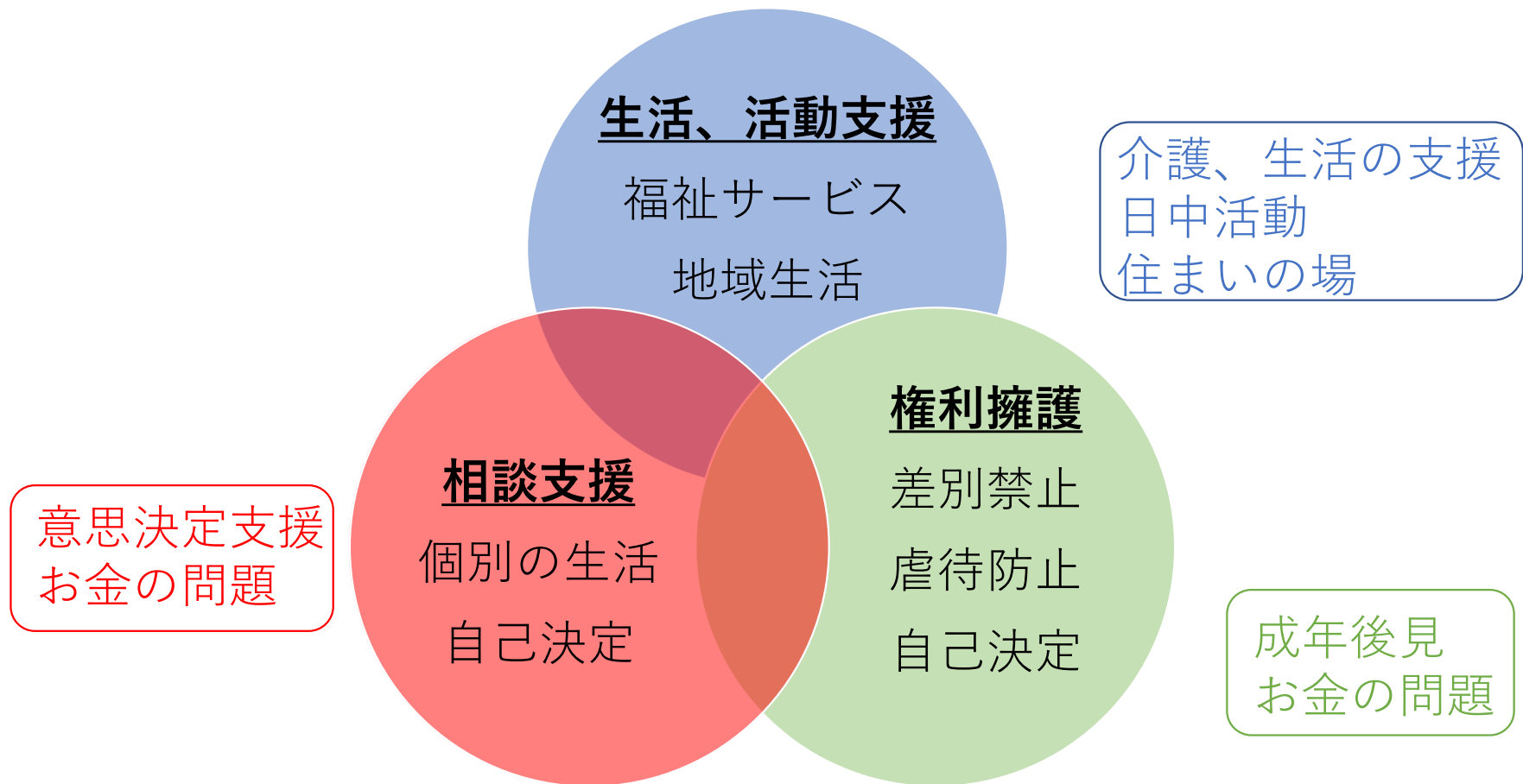
東総権利擁護ネットワーク 2009



高齢者、障害のある人々、及び、その家族、支援者が
地域で暮らすにあたって、
その人らしい生活を送るために、
必要な権利擁護の支援活動を行なう

- ・ 地域生活支援、権利擁護
- ・ 成年後見等の受任並びに利用
- ・ 市民後見支援員の養成
- ・ 権利擁護に関する広報、啓発事業

障害児者の生活を支える福祉の力 三つ組み



障害児者の生活を支える福祉の力 三つ組み

NPOあおぞら 福祉サービス

生活、活動支援

福祉サービス
地域生活

介護、生活の支援
日中活動
住まいの場

相談支援事業 ハピネス・結

意思決定支援
お金の問題

相談支援

個別の生活
自己決定

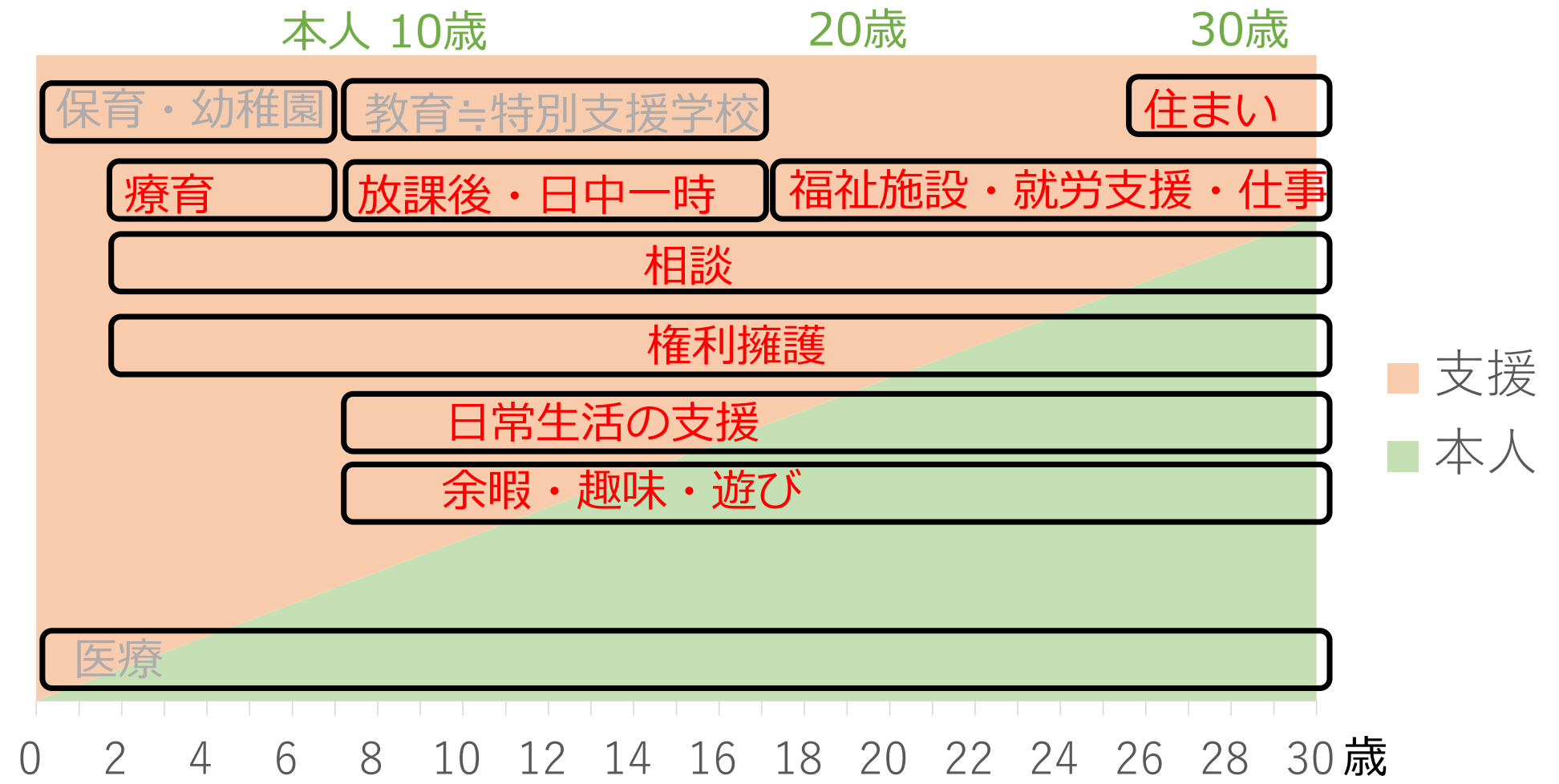
権利擁護

差別禁止
虐待防止
自己決定

東総権利擁護 ネットワーク

成年後見
お金の問題

障害児者の生活を支える 年齢と福祉



3 親が果たしてきた機能 緊急時

- 福祉サービスの枠の外にあること
- 緊急時・想定外の時にも親がなんとかしてきた。
津波、台風、火事、突然のリスク
- 親が急病、急死した時どうするか。
- 本当にいざというときに対応してくれる人
福祉施設・職員が重要。
入所施設、グループホームの重要な機能
自宅の人には地域生活支援拠点が役に立つと期待

緊急対応の例

- 20歳台 中等度知的障害
- 父親と二人暮らし 一人っ子 親族は遠方

父親 心筋梗塞で急逝

- 当日 生活介護職員が泊まり込み 計画相談開始
- 翌日 親族との連絡・協議 日常生活の支援
- 1週間以内 グループホームを緊急確保
相続 ペット(猫)
- ずっと 安定した生活 心のケア

銚子市地域生活支援拠点等 まるっとシステム

コーディネーター
NPO法人あおぞら 結

対象者

- 1 家族等が高齢や病気等により、
家族等からの支援が困難な方
- 2 自立に向けて1人暮らしや
通所等の利用を考えている方



いざというとき頼りに 新型コロナ感染発生時

グループホーム職員の献身的支援

福祉サービスの枠を超えている

NPO法人あおぞらの目的

障害のある人が地域の中で必要かつ十分な支援を受けながら、生涯にわたってその人らしい暮らしができる社会の実現を目指しています。

当事者・家族・支援者が協働し、
自立と生活を支えるサービスや相談事業ならびに社会参加等の事業を行い、
地域社会の福祉の増進に寄与することを目的としています。

NPO法人あおぞらの特徴

- 障害者の親と専門家が協力して法人を運営
- 自閉症や行動障害のある人を含めて、支援が難しい人の受け入れ
- 個々の利用者の障害特性の評価と、それに対応した合理的な支援
- 一人ひとりが楽しく、力が発揮できる場
- 本人と家族の気持ちを尊重し、個々の生活上のニーズの実現
- 医療、看護に力を入れる
- 地域住民の理解と協力を得て、地域の一員として認められる存在になる
- 職員研修の充実

4 親が果たしてきた機能 障害のバリアフリーと社会づくり

- 三つ組みだけでは足りない
- 本人らしい生活を送るためには、あらゆる場面で「障害のバリアフリー」が必要。真の意味での「合理的配慮」と言い換えてもよい。
- 同時に個性や嗜好を大切にすること。
- 親が蓄積した経験と専門家によるアセスメント、それに基づく支援。
- これこそが、障害児者の権利擁護のために最も大切なこと。
- 同時に一般市民への啓発、優しい社会づくりのポイント。

障害児者の生活を支える福祉の力 4つ目

啓発
活動

バリアフリー 合理的配慮

生活、活動支援

医療・福祉サービス
地域生活・日中施設

権利擁護

セイフティーネット
差別禁止
虐待防止
成年後見
自己決定

相談支援

個別の生活支援
自己決定

発達障害の特性 支援のために

中枢神経系の高次機能の障害が発達期に生じているもの

・ 日本精神神経学会 DSM-5病名・用語翻訳ガイドライン

- 自閉症スペクトラム障害 ASD
(自閉スペクトラム症)
 - 社会的相互交渉
 - コミュニケーション
 - 想像力・興味・関心
 - 感覚のバランス
- 注意欠陥多動性障害(症) ADHD
 - 衝動性、多動性、注意力
- 学習障害(症) LD
- 知的能力障害 (症) MR
 - 読字、書字、算数等
 - 知的全般の障害

広い意味では含まれる

光とともに

戸部けいこ作
秋田書店



●障害者人間ドックモデル事業

障害者思いやるドック

ノウハウ求め試行

旭中央病院

知的障害者や自閉症のある人を対象とした「人間ドック」の試みが、旭市にある旭中央病院で始まった。今年からスタートした県の主要な事業で、不検診を悩まなげや検査内容を、備前で説明が伝わりにくい障害者にも理解してもらおうと、ノウハウを揃える。成果を公表する予定だ。「一般の検査費と同額の診察に投資すべき」と、この試みにも意欲が。

見せて説明 ほめて次に

旭中央病院と旭市教育委員会、旭野、坂田、心療内科。旭中央病院は障害者に対する対応が、次の前に、これらにある。



胸に注射針を刺した写真を見せながら、採血の手順を説明する旭中央病院で

（旭市）
旭中央病院で、旭市教育委員会、旭野、坂田、心療内科。旭中央病院は障害者に対する対応が、次の前に、これらにある。

旭中央病院は、旭市教育委員会、旭野、坂田、心療内科。旭中央病院は障害者に対する対応が、次の前に、これらにある。

発達障害のある人の診療ハンドブック

2007年度厚生労働科学研究

「発達障害者支援のための地域啓発プログラムの開発」

主任研究者 堀江まゆみ：白梅学園大学

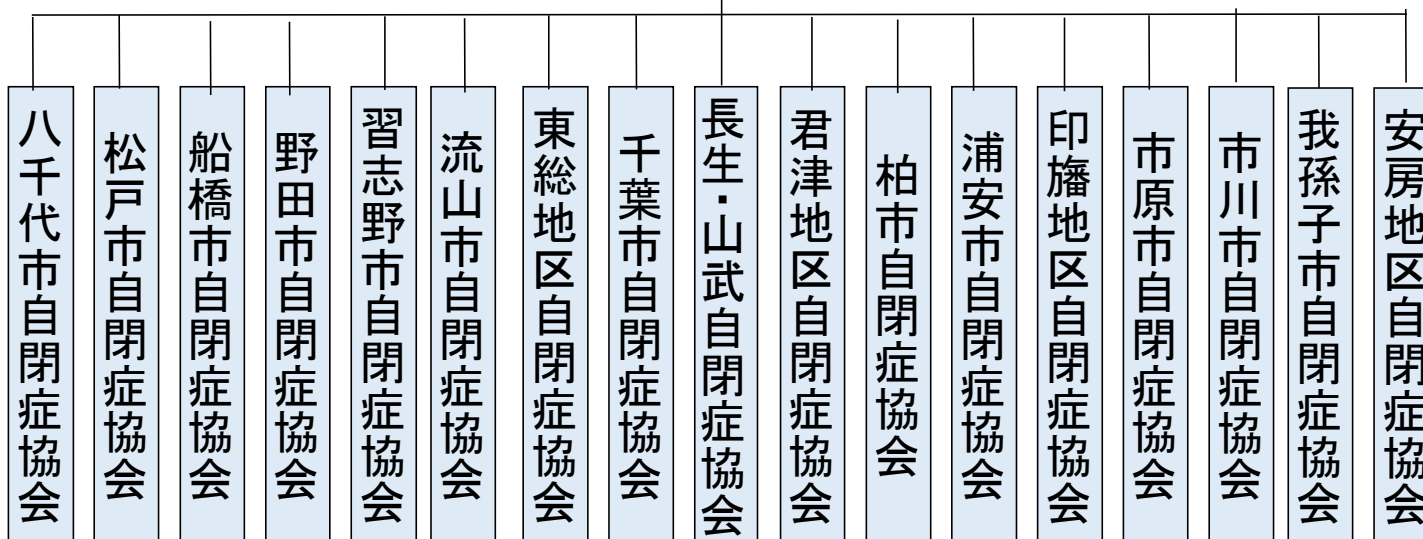
自閉症・知的障害・発達障害児者の医療機関
受診支援に関する検討

分担研究者 大屋滋：旭中央病院

千葉県自閉症協会 (2002年から会長)

社団法人日本自閉症協会(ASJ)

千葉県自閉症協会(ASC)



千葉県TEACCHプログラム研究会 2002

アメリカノースカロライナ州の自閉症支援体制
世界的に高く評価されている

スーパーバイザーや講師を招き、講演・実践発表

自閉症を中心とした発達障害の理解を深め、
より良い支援を議論する場

教員、福祉職員、家族、医師が参加

障害児者の生活を支える福祉の力 4つ目

啓発
活動

バリアフリー 合理的配慮

千葉県自閉症協会
TEACCH研究会

生活、活動支援

医療・福祉サービス
地域生活・日中施設

NPOあおぞら
福祉サービス
旭中央病院
医療サービス

NPOあおぞら
ハピネス・結・わかば
相談支援

相談支援

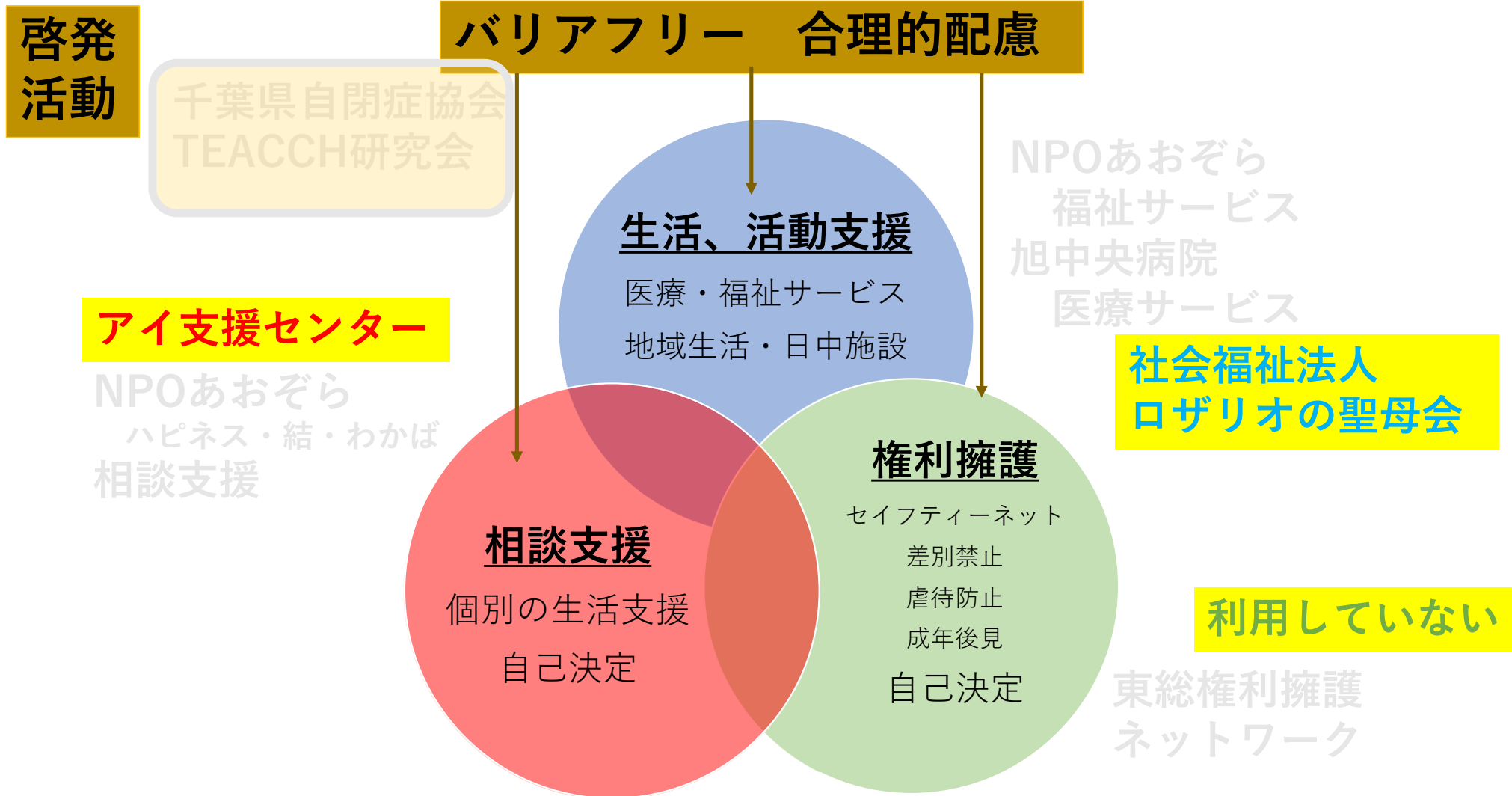
個別の生活支援
自己決定

権利擁護

セイフティーネット
差別禁止
虐待防止
成年後見
自己決定

東総権利擁護
ネットワーク

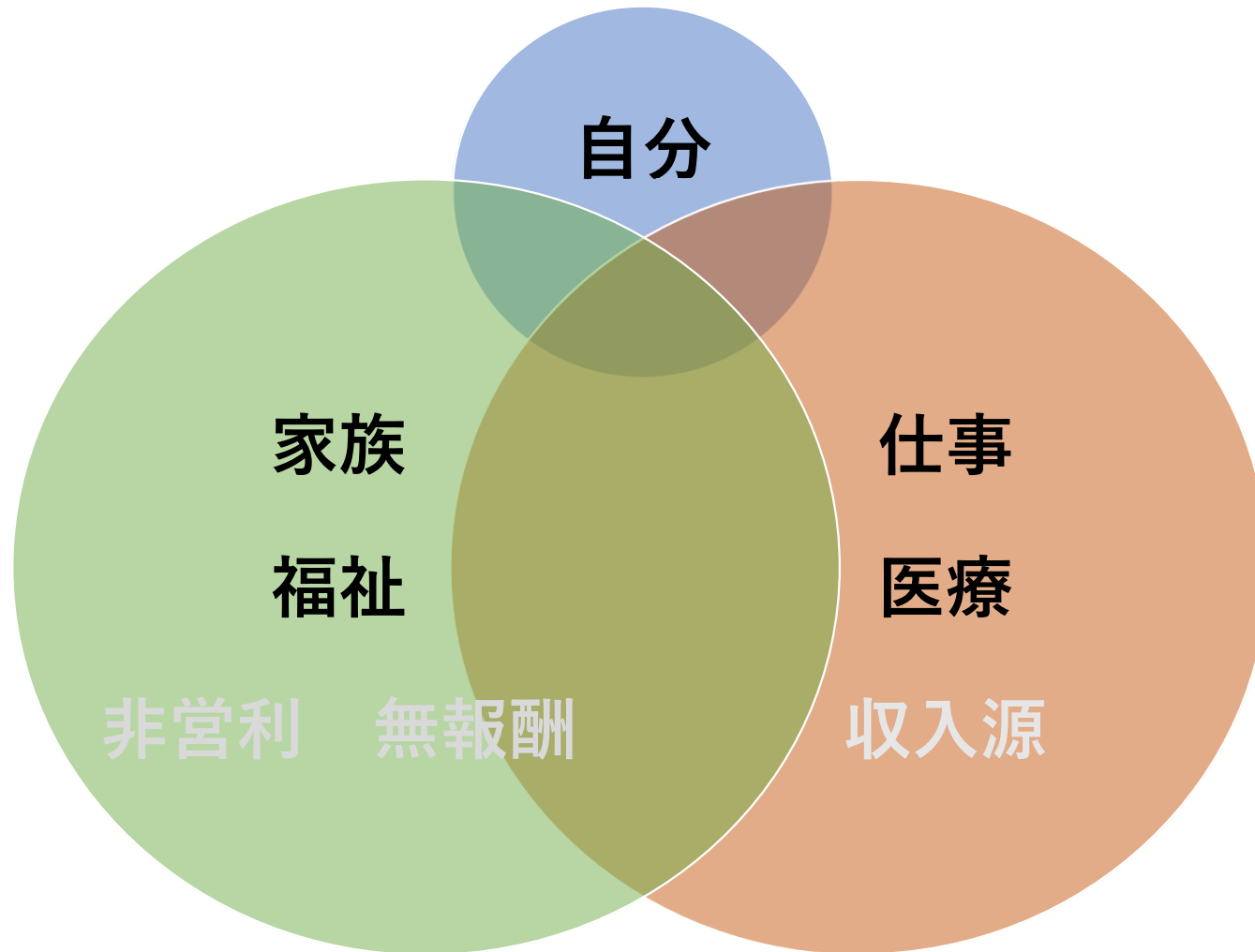
😊うちの長男を支えるのは 主に別法人



5 最後に 親の一番大切な機能

- 子は親を選べない 親は子を選べない 一度きりの運命
- 行けるとことまで一緒に人生を歩む
楽しいことも、悲しいことも、辛いことも、嬉しいことも
- いろいろやってきたが、全く足りていない
- みんなに任せて、親なき後も幸せを願う

今の私の生活のバランス 人間らしい？



福祉事業は楽しみ 仕事も半分楽しみ

